

# 小野谷機工

## ブースターエアジャッキ「BAJ」

タイヤ足回り整備機器の大手、小野谷機工株式会社は、ブースターエアジャッキ「BTJ」シリーズをフルモデルチェンジし、軽量化して取り回しを向上させるとともに、静音化を図った新型ブースターエアジャッキ「BAJ」シリーズを販売開始した。あわせて、寒冷地でのウェイト取り付け作業を強力にサポートするウェイトヒーター「BH-40」もオプション販売する。(木本浩史)

### ■ブースターエアジャッキ

新型ブースターエアジャッキ「BAJ」シリーズの解説をしてくれたのは、開発者である同社商品開発本部・機器商品開発部の武澤圭朗さん。

「BAJ」シリーズでは、より使い勝手が良く、作業者の負担を減らす開発をめざし、軽量化を図りました。従来品のBTJモデルと同等の能力でありながら、BAJ120はBTJ125Wよりも大きさを一回り小さく

することによって重量が40キロから32キロに、8キロの軽量化を行いました。他の機種も同様で、8キロから最大15キロの軽量化を行っています」とのこと。軽量化によって、一つ一つの作業で作業者にかかる負担は着実に減ってくるはずだ。

また、コンパクトにしたことにより、幅が小さくなったため、通常タイヤのすぐ横にあるジャッキアップポイントに当てやすくなった。

また、ジャッキアップ作業は通常暗がりでの作業になることが多いため、同社ではオプション品としてLED照明装置（J-Luce）を付けているが、LEDを一新し、高照度の物に変えた。さらに視認性をあげるため、アタッチメントに金メッキを施した。このためジャッキアップポイントが高い位置にある車でも、安全・確実な作業が行える。

従来品との比較でも、明らかに照度が上がっているのがわかった。電池（単三2本）残量が下がると照度が落ちてくるため、ボタンを押しして1分後に自動的に照明が消える節電タイマーモードを装備。電池の消耗を防ぐとともに、照射時間が

能と言えらるだろう。さらにこだわったのが静音化だ。武澤さんは「夜間作業での騒音を抑えるべく、ブースターを完全に一新し、

が、明らかに新型の方が静かになってきた。作業者にも、周囲の環境にも貢献できる機能といえそうだ。

同社販売促進企画部の川崎雅彦部長は、

『新商品B AJシリーズは、年内いっぱいにはBTJシリーズとの併売を行います。年明けからはBAJシリーズに販売を一本化していく計画です』と語る。聞き比べてみた

開発のきっかけに付いて三田村さんは、『バランスウェイトは粘着塗料で接着しますが、冬の寒冷地ですとどうしても接着が悪く、困っているというお話を多くの方から頂き、それなら温めるものを造ろうという事で2年前に着手しました。幸いモニターして頂いたお客様から高い評価を得て、今回オプション販売することになりました』と語る。

この冬商戦から、寒冷地作業で威力を発揮しそうだ。商品に対する問い合わせは同社（TEL0778-22-2124）まで。

## 新ウェイトヒーターも

### 「BH-40」オプション販売

長く欲しい時にはボタンの長押しで連続照射も可能。このあたりも作業者にとって助けになる機能

新規のものを採用しました。このため騒音を15デシベル低減することになった。聞き比べてみた

同社販売促進企画部の川崎雅彦部長は、

『新商品B AJシリーズは、年内いっぱいにはBTJシリーズとの併売を行います。年明けからはBAJシリーズに販売を一本化していく計画です』と語る。聞き比べてみた

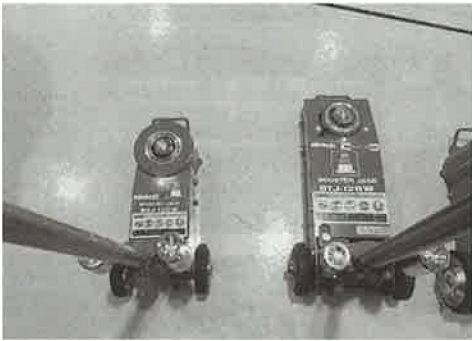
また、電源をバランスとは別にしてあるため、使いやすい場所で温かいウェイトをストックすることもできるようになっている。この冬商戦から、寒冷地作業で威力を発揮しそうだ。



機器商品開発部・武澤圭朗さん



新商品ブースターエアジャッキ「BAJ」



旧来品（右）とのサイズ比較

「新商品B AJシリーズは、年内いっぱいにはBTJシリーズとの併売を行います。年明けからはBAJシリーズに販売を一本化していく計画です」と語る。聞き比べてみた

また、電源をバランスとは別にしてあるため、使いやすい場所で温かいウェイトをストックすることもできるようになっている。この冬商戦から、寒冷地作業で威力を発揮しそうだ。



同部・三田村廣大さん



ウェイトヒーター